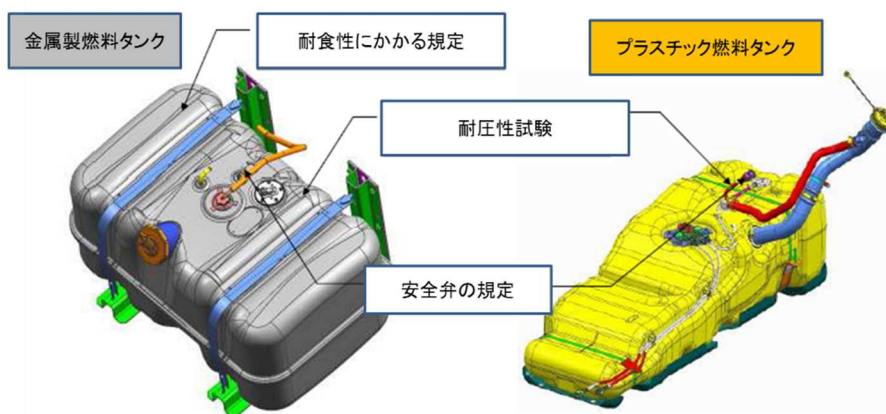
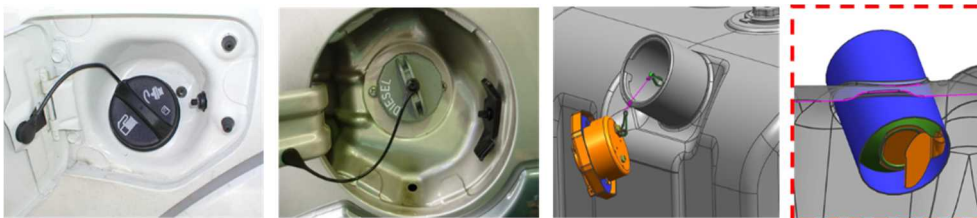


「6-2. 燃料漏れ防止基準（UN-R34 関係）」

- 適用範囲
 - 液体を燃料とする自動車
- 改正概要
 - 現行のタンクの基準の他に、タンク及びタンクに取り付けられている装置を装備した際の加圧試験を追加
 - 金属製の燃料タンクにも腐食性にかかる試験を追加

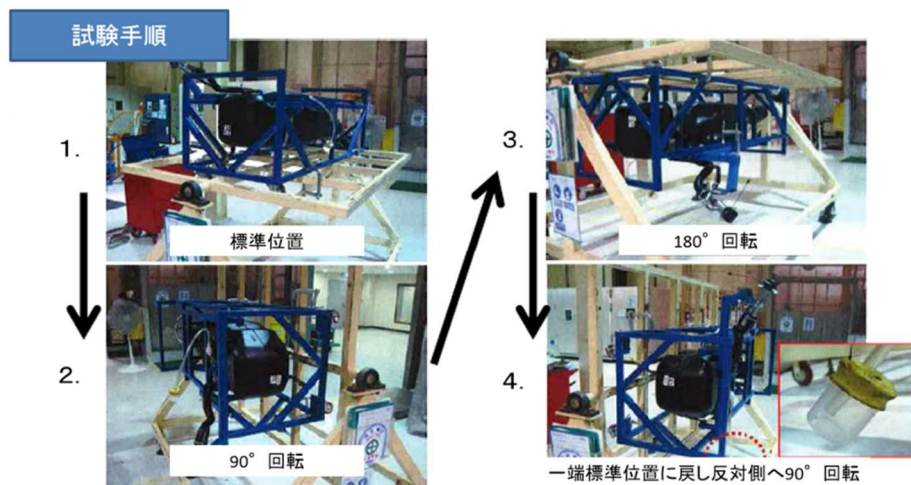


- 注入キャップの基準の追加
紐又はチェーン等により紛失しない構造であること。ただし、エバポミッション及び燃料漏れを防ぐ構造のものを除く。



○ 自動車転覆時燃料漏れ試験の追加

燃料タンクを試験装置に取り付け 90°、180° 及び 270° にそれぞれ回転させ、そのとき漏れが無いことを確認する。(30g/分までは許容する。)



- 改正時期
平成 27 年6月(予定)
- 適用時期
新型車:平成 30 年9月1日以降の認可取得車(予定)